



明新館通信



イメージキャラクター
「めいのすけ」

令和3年度

第6号(通巻155号)

山形県立上山明新館高等学校

山形県上市市仙石650番地

TEL 023 (672) 1700

令和4年3月18日(金)発行

日日新 又日新 (日日新たに又日に新たなれ)

祝！卒業 第29回卒業証書授与式

3月1日(火)、第29回卒業証書授与式が挙行されました。新型コロナウイルス感染症予防のため、在校生は各教室でオンライン参加、保護者各家庭1名、来賓4名の臨席による儀式となりました。

佐藤校長先生の式辞ではコロナ禍において『自分の可能性に線を引くな』ということをお願いしてきた。パナソニックの創業者であり、「経営の神様」と称された松下幸之助氏の格言は、私に「とにかく、考えてみることであり、工夫してみることであり、そして、やってみることであり、失敗すればやり直せばいい。」ことを教えてくれた。失敗したら成功するまで、やり続けること、それが若さであり、その失敗はきっと将来の力につながると私は信じている。皆さんには「この地で生まれ、これからも地域で生きる人間として皆さん全員が幸せな家庭を作ってください、ふるさと山形の素晴らしさを、子々孫々まで伝えていただきたい」との願いをお話しされました。

また、本校教育振興会長の横戸長兵衛上市市長からご臨席をたまわり、「活動制限の中で、創意工夫して努力され、新しい生活を送ってきた。これから変化のある道を歩むことを前向きにチャンスととらえ、可能性と広い視野を持ち、新しいページを作っていくしてほしい。3年間の歩みに自信と誇りを持ち挑戦してほしい」と祝辞を頂きました。

生徒会長の遠藤詩織さんによる「送辞」では、「部活動、クラスマッチ、黎明祭などではコロナ禍の中でも、先輩方がリーダーシップを発揮され、丁寧に指導していただいたからこそ、思い出残る学校行事となった。どんな時でも責任感を持ち、前向きに、学校が良い方向に進むための工夫を重ねていた姿は憧れでした。」とこれまでの取組に対する尊敬の念とその想いを受け継ぐ覚悟について語りました。

卒業生代表の鈴木一成君からの「答辞」では、入学してからの3年間の思い出に触れ、コロナ禍により2年生からは学校生活に制約がかかり、一生に一度しかない高校生活の青春を奪われたことに寂しさと悔しい思いを述べながらも、学校行事やイベント、思い出残る修学旅行等を行っていただいた先生方や支えてくれた家族に感謝の気持ちを伝えました。さらに、進路に向けた学校活動の中で友人の取組みから、「自分がやりたいことに積極的に挑戦し、夢破れて涙することがあっても何度も立ち上がる強さを、3年生の仲間や先生方から教えられた。」「夢は必ず叶う、挑戦と努力と

今を楽しもうとする気持ちをわすれなければ」と新たなスタートに向けた決意を述べました。

最後に横澤隆学年主任と卒業生一人一人が新しい生活様式を踏まえてグータッチにより別れの挨拶を交わしました。担任団に見送られ体育館を後にする成長した姿は凛として、引き締まった表情には、これからの社会に飛び立つ決意が感じられました。



〈 進路体験を引き継ぐ会 〉 ～ 先輩から後輩へ ～

2月17日(木)、1年生・2年生それぞれが希望進路別に別れて、3年生からの「進路決定に向けた取り組み」について話を聞きました。3年生の体験談は自分なりに取り組んだ内容で、成功の裏の努力や具体的な方法は、いずれも参考になるものばかりでした。また、話す様子は自信に満ちていて、これまでの経験によって成長した姿は、さすがと言えるほど立派なものでした。1・2年生も真剣にメモをとるなどして、今後の進路に向けて先輩に続こうという意気込みが感じられました。



〈美術部 校外展〉



美術・イラスト部の美術班による校外展が、1月21日(金)から23日(日)に山形県芸文美術館にて行われました。油彩画・アクリル画・切り絵・立体作品など18点を展示しました。校内外から多数のご来場と激励のお言葉をいただき、今後の活動の励みとなりました。

(ポスター制作、2年1組 奥山小春)



〈高等教育支援制度 CanNote 贈呈〉

3月8日(火)内閣府大臣官房政府広報室より、令和2年4月から開始した「高等教育の修学支援新制度」について、この制度を一人でも多く利用できるよと、CanNoteが配布されました。

「学びたいんだ」その思いに、経済的な理由で学ぶ未来を諦めないよう、新しい支援制度がはじまっています。

詳しくは「学費のエール 政府広報」をご覧ください。



〈SDGs ワークショップ〉



2月25日(金)、1,2年生の希望者を対象にSDGsワークショップを開催しました。自身の消費行動が、山形県の環境や地域経済にどのような影響を及ぼすのかをカードゲームを通じて学習しました。自分の経験、健康、モノの充実と、山形県の環境、社会、経済の両立を目指して行動選択をしていく中、バランスの取れた結果を得るためにグループで話し合う姿が見られました。

何気ない日常の行動に、SDGsの視点をもつきっかけになったのではないのでしょうか。



祝 入賞 倉田知悟(2年) 冬季国体(スケート競技:栃木県) 少年男子2000mリレー 5位入賞 少年男子500m 8位入賞

《 今後の行事予定 》

3月22日(火) 大掃除、修了式、離任式	18日(月) 部総会
25日(金) 合格者説明会(午前)	19日(火) 全校校歌練習、尿検査、各種委員会
4月 8日(金) 新任式、始業式、入学式	20日(水) 身だしなみ一斉指導
11日(月) 対面式、部紹介、進路希望調査①	22日(金) 1年耳鼻科検診
2・3年課題テスト	22日(金)~24日(日) 藤井高野杯(バスケ)
11日~15日 1年ベーシックセミナー等	27日(水) 尿検査、SC
12日(火) 1年胸部レントゲン	28日(木) 1年眼科検診
13日(水) 身体計測	29日(金) PTA総会、3年進路ガイダンス
15日(金) SC(教育相談日)	